

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	北大	医学修士	医倫理学序論	2)医療情報の倫理		
	北大	医学修士	医倫理学序論	3)遺伝子解析の倫理		
	北大	医学修士	医倫理学序論	4)人を対象とした研究における倫理		
	北大	医学修士	医倫理学序論	5)臨床研究の倫理		
	北大	医学修士	医倫理学序論	6)疫学研究の倫理		
	北大	医学修士	医倫理学序論	7)研究の倫理(捏造)		
	北大	医学修士	医倫理学序論	8)動物実験の倫理		
ARO	北大病院	院生	医倫理学		臨床研究の倫理について理解する。	
	北大	医学修士・博士	基本社会医学研究法 I /社会医学研究法 I (博士)	研究倫理	研究倫理を知り、具体例に触れる。	研究計画、倫理的側面を議論することにより、倫理的に妥当な研究の方法を学ぶ。
	北大	看護修士	医療倫理・リスクマネジメント特論		4.臨床で生じる倫理問題を理解し、医療専門職者として、対象者の意思決定を支援することができるかを考察する。	
	北大	看護修士	医療倫理・リスクマネジメント特論	2.研究倫理の基本的思考		
	北大	歯学学士	社会歯科学		医の倫理を説明できる。 医の倫理に従って行動できる。	
	旭川医大	医学学士	医療概論I(必修)			医療倫理学のABC第3版 服部健司、伊藤隆雄/メジカルフレンド社3132円
	旭川医大	医学学士	医療概論I(必修)			
	旭川医大	医学学士	医療概論I(必修)			
	旭川医大	医学学士	医療概論I(必修)			
	旭川医大	医学学士	医療概論I(必修)	医療倫理に答えはあるか？ I		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	旭川 医大	医学学士	医療概論1(必修)	医療倫理に答えはあるか？Ⅱ		
ARO	旭川医大/ 道臨床 開発機構 (旭川医 大)	医学部2年 生	医療概論2(必修)	人を対象とする医学研究と倫理	ヘルシンキ宣言や人を対象とする医学系研究に関する倫理指針や必要性について説明できる。また臨床研究に伴う倫理的問題点について列挙し、その概略を説明できる。	(参)いざ、倫理委員会へ 尾藤誠司/iHope、 医学と利益相反 三瀬朋子/弘文堂
ARO	旭川医大/ 道臨床 開発機構 (旭川医 大)	医学部2年 生	医療概論2(必修)	利益相反	人を対象とする医学研究における利益相反(conflict of interest)について、その概要と利益相反マネジメントの必要性について説明できる。	
	旭川 医大	医学学士	医療概論2(必修)	近代医療と倫理	高度産業社会において専門的医療サービスに求められる倫理的要件がなにかを考える。	
	旭川 医大	医学学士	医療概論2(必修)	移植医療	移植医療を例にとり、先端技術の活用がもたらしがちな倫理的問題性について考える。	
	旭川 医大	医学学士	腫瘍学1	がんの告知	がん診療における生命倫理的な問題(特に告知)を考える	
	旭川 医大	看護学士	生命科学(必修)	生命倫理と遺伝(1)	主な出産前診断とその課題について学ぶ。	
	旭川 医大	看護学士	生命科学	生命倫理と遺伝(2)	看護と生命倫理の問題について学ぶ。	
	旭川 医大	看護学士	生命科学	生命倫理と遺伝(3)	遺伝カウンセリングと具体例について学ぶ。	
	旭川 医大	看護修士	看護倫理特論 (共通科目)		看護実践において装具する倫理的問題の解決に向け、自立した高度実践看護師として必要な倫理学の基礎理論、法と倫理の関係、倫理的検討法について探求する。がん医療、End of Life care、高齢者への看護実践に伴う倫理的ジレンマと高度実践看護師としての対応の実践について、事例検討を通して関係者間の倫理的調整ができるための能力を養う。	入門・医療倫理 赤井朗/頸草書房2005年 医療倫理、浅井篤・服部健司・大西基喜・大西香代子・赤井朗/頸草書房2002年
	旭川 医大	看護修士	看護倫理特論 (共通科目)	1 ガイダンス・看護実践における倫理と責務		
	旭川 医大	看護修士	看護倫理特論 (共通科目)	2 倫理学の基礎理論(1) 倫理学における主要な概念、倫理理論		
	旭川 医大	看護修士	看護倫理特論 (共通科目)	3 倫理学の基礎理論(2) 医療倫理の四原則など		
	旭川 医大	看護修士	看護倫理特論 (共通科目)	4 医療職における専門職論、倫理綱領		
	旭川 医大	看護修士	看護倫理特論 (共通科目)	5 守秘義務と個人情報保護: 治験、遺伝情報管理における倫理的問題		
	旭川 医大	看護修士	看護倫理特論 (共通科目)	6 インフォームド・コンセント		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	旭川 医大	看護修士	看護倫理特論 (共通科目)	7 倫理的問題の分析と検討法		
	旭川 医大	看護修士	看護倫理特論 (共通科目)	8 看護実践における倫理的ジレンマ:	がん医療を受ける人の自立や尊厳に関する問題(1)	
	旭川 医大	看護修士	看護倫理特論 (共通科目)	9 看護実践における倫理的ジレンマ:	がん医療を受ける人の自立や尊厳に関する問題(2)	
	旭川 医大	看護修士	看護倫理特論 (共通科目)	10 看護実践における倫理的ジレンマ:	医療者・患者・家族の価値観の違いに関する問題	
	旭川 医大	看護修士	看護倫理特論 (共通科目)	11 End of LifeCare における倫理的問題		
	旭川 医大	看護修士	看護倫理特論 (共通科目)	12 高齢者医療における倫理的問題		
	旭川 医大	看護修士	看護倫理特論 (共通科目)	13 看護実践における倫理的ジレンマ:	事前指示とDNR、鎮静に関する問題	
	旭川 医大	看護修士	看護倫理特論 (共通科目)	14 看護実践における倫理的ジレンマ:	治療の差し控え・中止に関する問題	
	旭川 医大	看護修士	看護倫理特論 (共通科目)	15 まとめ:	高度実践看護師としての倫理的問題への対応	
	札幌 医大	医学学士	医療倫理学		近年、医科学や医学的治療は目覚ましい進歩をする一方で、患者は幸福を願って、良い治療を求めるころの問題を抱えている。こうした人々が期待する恩恵と同時に、直面する問題点を理解する為に、以下の点を学習する。1)医療倫理の歴史を学ぶ。2)不治の病、延命、不妊治療などをめぐる日本及び世界の動向を学ぶ。3)話題になっている医療記事を取り上げ、ビデオ教材を使いながら、倫理的問題点を指摘し、海外と日本の現状を比較する。4)最先端の再生医療や遺伝子解析の取扱いにおける倫理的問題を学ぶ。5)各人は自分の意見を持つだけでなく、グループ討論をする中で、多様な意見に触れ、多角的な思考能力を身につける。	
	札幌 医大	医学学士	医療倫理学	導入	倫理とは何か、医療に何故倫理が必要なのか	
	札幌 医大	医学学士	医療倫理学	生命倫理(1)	「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」と北海道大学病院における臨床研究の取扱いについて理解する。 1)臨床研究に関する基礎的知識を身につける。 2)「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を理解し、説明できる。 3)橋渡し研究の進め方について理解する。 4)「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて作成された臨床研究プロトコールに沿って、臨床研究が行える。	
	札幌 医大	医学学士	医療倫理学	生命倫理(2)	生命倫理と伝統的倫理学との違い	

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	札幌 医大	医学学士	医療倫理学	医療倫理	古来の医の倫理と、1970年代以降の医療倫理の違い	
	札幌 医大	医学学士	医療倫理学	臨床研究の倫理	臨床医学の現場での医療倫理の理念	
	札幌 医大	医学学士	医療倫理学	動物実験の倫理	適正な動物実験の実施とは何か	
	札幌 医大	医学学士	医療倫理学	終末期医療(1)	安楽死をめぐる国際的議論	
	札幌 医大	医学学士	医療倫理学	終末期医療(2)	尊厳ある死とは何か	
	札幌 医大	医学学士	医療倫理学	終末期医療(3)	緩和ケアにおける諸問題	
	札幌 医大	医学学士	医療倫理学	生殖医療(1)	人工妊娠中絶、体外受精をめぐる問題の概観	
	札幌 医大	医学学士	医療倫理学	生殖医療(2)	代理母の問題点	
	札幌 医大	医学学士	医療倫理学	再生医療(1)	ヒト胚の地位	
	札幌 医大	医学学士	医療倫理学	再生医療(2)	ES細胞・iPS細胞研究とクローン技術	
	札幌 医大	医学学士	医療倫理学	遺伝子技術(1)	ゲノム解析と着床前診断	
	札幌 医大	医学学士	医療倫理学	遺伝子技術(2)	エンハンスメントと人間改造	
	札幌 医大	医学修士	医療倫理学	医療倫理学講義(内容は学士と同様)	近年、医科学や医学的治療は目覚ましい進歩をする一方で、患者は幸福を願って、良い治療を求めることの問題を抱えている。こうした人々が期待する恩恵と同時に、直面する問題点を理解する為に、まず医療倫理の歴史を学び、次に、不治の病、延命、不妊治療などをめぐる日本および世界の動向を学ぶ。また、話題となっている医療記事を取り上げ、ビデオ教材を使いながら、倫理的問題点を指摘し、海外と日本の現状を比較する。さらに、最先端の再生医療や遺伝子解析の取扱いにおける倫理的問題も学ぶ。	新版 医療倫理Q&A 関東医学哲学・倫理学会/太陽出版、生命倫理講義スライドノート 粟屋剛、宍戸圭介、加藤謙/ふくろう出版
	札幌 医大	看護学士	倫理学	1生命倫理が創始された背景	到達目標:1 医療倫理の歴史について説明できる。2話題になっている医療記事における倫理的問題点を指摘できる。3 安楽死、尊厳死をめぐる海外と日本の現状を比較できる。4 生殖補助医療をめぐる海外と日本の現状を比較できる。	
	札幌 医大	看護学士	倫理学	2伝統的倫理学との違い		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	札幌 医大	看護学士	倫理学	3安楽死をめぐる国際的議論		
	札幌 医大	看護学士	倫理学	4尊厳ある死とは何か		
	札幌 医大	看護学士	倫理学	5緩和ケアにおける諸問題		
	札幌 医大	看護学士	倫理学	6人工妊娠中絶		
	札幌 医大	看護学士	倫理学	7体外受精をめぐる問題の概観		
	札幌 医大	看護学士	倫理学	8ゲノム解析と着床前診断		
	東北大	医学学士	医療倫理学			医療倫理学に関する諸問題について学習する ・自分の関心のあるテーマを絞る・絞ったテーマ について多角的な視点から調べることができる・ 調べたことをもとに自分の考えをまとめることが できる・自分の考えを発表し、他の人に伝えるこ とができる・自分あるいは他の人が発表したこと について議論することができる・議論をもとに改 めて自分の考えを深めることができる
	東北大	医学学士	医療倫理学	1. 臨床倫理	日常診療、生命の始まりと終わり、高齢者医療	
	東北大	医学学士	医療倫理学	2. 公衆衛生倫理	公衆衛生の歴史、感染症、ヘルス・プロモーション	
	東北大	医学学士	医療倫理学	3. 研究倫理	基礎研究、臨床研究、疫学研究、研究者倫理	
	東北大	医学学士	医療倫理学	4. 先端医療	臓器移植、再生医療、遺伝医療、生殖補助医療	
	東北大	医学学士	医の倫理学・社会学	医療倫理総論・医プロフェッ ナリズム		
	東北大	医学学士	医の倫理学・社会学	インフォームド・コンセント		
	東北大	医学学士	医の倫理学・社会学	プライバシーと守秘義務		
	東北大	医学学士	医の倫理学・社会学	HIV/AIDS・慢性疾患医療		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	東北大	医学学士	医の倫理学・社会学	意思決定能力のない患者の医療		
	東北大	医学学士	医の倫理学・社会学	終末期医療		
	東北大	医学学士	医の倫理学・社会学	公衆衛生の倫理		
	東北大	医学学士	医の倫理学・社会学	主要先端医療に関わる倫理		
	東北大	医学学士	医の倫理学・社会学	医療資源の配分・医療政策		
	東北大	医学学士	医の倫理学・社会学	専門分野に特化した問題		
	東北大	医学学士	医の倫理学・社会学	生命の始まりと生殖補助医療		
	東北大	医学学士	医の倫理学・社会学	薬害問題		
	東北大	医学学士	医の倫理学・社会学	医学研究の倫理		
ARO	東北大 大学病院	医学科3年全 員	基礎医学特別講義	研究倫理	講義終了後、CITI(Collaborative Institutional Training Initiative)受講および試験(80点以上で合格)を義務付け。	
	東北大	医学修士	医療倫理学		ヒト検体を使用する研究の倫理	
	東北大	医学修士	医療倫理学	医療倫理概論・臨床倫理		
	東北大	医学修士	医療倫理学	臓器移植・再生医療にかかわる倫理		
	東北大	医学修士	医療倫理学	人を対象とした医学系研究の倫理		
	東北大	医学修士	保健医療概論	インフォームドコンセントと患者の権利		
ARO	東北大 大学病院	医科学博士 (医学履修)1 ~3年生	「研究推進・研究倫理ゼミ」		求められる技術習得と同時に、医学・生命科学研究者が社会から求められる倫理規範を確認、目的とした	
	東北大	医科学博士	生命倫理	ガイダンス・トータル-Local best に陥らないために		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	東北大	医科学博士	生命倫理	研究の倫理		
	東北大	医科学博士	生命倫理	てんかん診療体制構築へのアウトリーチ活動		
	東北大	医科学博士	生命倫理	医学研究の倫理		
	東北大	医科学博士	生命倫理	老人の尊厳と死について		
	東北大	医科学博士	生命倫理	終末期医療		
	東北大	医科学博士	医学研究方法論	Basic concept of medical sciences research		
	東北大	医科学博士	医学研究方法論	Systematic Reviews and research question (1)		
	東北大	医科学博士	医学研究方法論	Systematic Reviews and research question (2)		
	東北大	医科学博士	医学研究方法論	Study design in basic medical research (1)		
	東北大	医科学博士	医学研究方法論	Study design in basic medical research (2)		
	東北大	医科学博士	医学研究方法論	Study design in epidemiological research (1)		
	東北大	医科学博士	医学研究方法論	Study design in epidemiological research (2)		
	東北大	医科学博士	医学研究方法論	Statistics in medical research (1)		
	東北大	医科学博士	医学研究方法論	Statistics in medical research (2)		
	東北大	医科学博士	医学研究方法論	Academic writing and grant proposal		
	東北大	医科学博士	医学研究方法論	Scientific presentation and research ethics		
	東北大	医科学博士	医学研究方法論	Review and preparation for presentation		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	東北大	医科学博士	医学研究方法論	Study proposal presentation (1)		
	東北大	医科学博士	医学研究方法論	Study proposal presentation (2)		
	東北大	医科学博士	TR特論Ⅰの2	動物実験倫理の進め(1)		
	東北大	医科学博士	TR特論Ⅰの4	動物実験倫理の進め(2)		
	東北大	医科学博士	TR特論Ⅱ	研究と臨床の倫理		
	東北大	看護修士	医療倫理学	医療倫理概論・臨床倫理		
	東北大	看護修士	医療倫理学	臓器移植・再生医療にかかわる倫理		
	東北大	看護修士	医療倫理学	人を対象とした医学系研究の倫理		
	東北大	看護修士	医療倫理学	動物実験の倫理		
	東北大	看護修士	医療倫理学	ヒト検体を使用する研究の倫理		
	東北大	看護修士	医療倫理学	微生物取扱にかかわる倫理		
	東北大	薬学学士	総合薬学演習	法規・制度・倫理	薬学と社会、医薬品の開発と生産、ヒューマニズム	
	東北大	薬学修士	応用医療薬学特論	研究と臨床の倫理	臨床研究を進めて行く際に、倫理的にみて心得ておくべき基本的な視点を概観する。例えば次に挙げるようなトピックを取り上げる。・臨床研究と治療の差異と重なり・臨床研究と被験者保護・益と害のアセスメント・リスクと意思決定のあり方	
	東北大	歯学学士	社会歯科学	医の原則と社会とのかかわり	歯科医師としての基本的な考え方や倫理観を養い、歯科医師が必要な基本的な医の原則を身につける。	
	東北大	歯学学士	医の倫理・社会の倫理	医療倫理と医療安全Ⅰ		
	東北大	歯学学士	医の倫理・社会の倫理	医療倫理と医療安全Ⅱ		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	東北大	歯学学士	医の倫理・社会の倫理	臨床倫理学と臨床死生学		
	東北大	歯学学士	医の倫理・社会の倫理	先天異常にかかわる倫理		
	東北大	歯学学士	医の倫理・社会の倫理	遺伝学的検査の倫理		
	東北大	歯学学士	医の倫理・社会の倫理	学術研究の倫理		
	東北大	歯学学士	臨床シミュレーション実習	歯科矯正学	インフォームドコンセント	
	東北大	歯学学士	臨床シミュレーション実習	歯科矯正学		
ARO	東大医 科研附 属病院	Non-MD修士・ 大学院生	TR概論	研究倫理		
	東大	看護学士	医療倫理学 I	(1)生命・医療倫理学とは/倫理学の基礎1		赤林朗(編著)『入門・医療倫理I』勁草書房 Jonsen, A.R. et al.著(赤林、蔵田、児玉監訳) 『第5版臨床倫理学—臨床医学における倫理的 決定のための実践的なアプローチ』新興医学出版 ・赤林朗編著『ケースブック医療倫理』医学書院 ・Hope, T.著(児玉聡・赤林朗訳)『一冊で分かる 医療倫理』岩波書店
	東大	看護学士	医療倫理学 I	(2)倫理学の基礎2/医療倫理の 原則と重要概念		
	東大	看護学士	医療倫理学 I	(3)ICの法理/終末期医療		
	東大	看護学士	医療倫理学 I	(4)臨床症例の倫理的検討法		
	東大	看護学士	医療倫理学 I	(5)ケアの倫理/生殖補助医療		
	東大	看護学士	医療倫理学 I	(6)守秘義務/研究倫理		
	東大	看護学士	医療倫理学 I	(7)模擬倫理委員会		
	東大	看護学士	医療倫理学 II	(7)研究者の倫理と不正/倫理コ ンサルテーションIV		
	東大	薬学学士	薬学特別講義	①生命・医療倫理学	◎昨今の研究や医療の現場において、インフォームド・コンセントに代表されるような医療倫理の議論が、研究者や医療関係者にとって無視することはできないものになっている。そこで、医療倫理について理解を深めてもらうために、具体的な事例に触れながら医療倫理の基本原則について概説する。	

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	慶応大	医学学士	メディカル・プロフェッショナルリズムⅢ(研究倫理)			科学を目指す君たちへ:研究者の責任ある行動とは アメリカ科学アカデミー(編)池内了(訳)/化学同人、 科学者の不正行為-捏造・偽造・盗用・山崎茂明/丸善、 論文捏造(中公新書ラクレ)村松秀/中央公論新社、 科学者心得帳-科学者の三つの責任とは 池内了/みすず書房、 科学者という仕事-独創性はどのように生まれるか(中公新書) 酒井邦嘉/中央公論新社、 Scientific Misconduct, Falsifying the Truth. Lynda D. Thomson-Smith(Ed.) fastbook publishing 2012, 捏造の科学者 STAP細胞事件 須田桃子/文芸春秋
	慶応大	医学学士	メディカル・プロフェッショナルリズムⅢ(研究倫理)	第1, 2回 データの取得、発表における研究倫理	(1)データ取得から学会や論文発表までの流れについて説明できる。(2)的確な実験記録の取り方、画像や数値データの扱い方について説明できる。(3)研究倫理に反する、捏造、改竄、東洋などを例示して説明できる。(4)不正と不正でない境界領域がどこにあるのかを議論できる。	データの取得・発表における研究倫理を理解する。
	慶応大	医学学士	メディカル・プロフェッショナルリズムⅢ(研究倫理)	第3, 4回 ヘルシンキ宣言と同意の取得	(1)ヘルシンキ宣言の歴史的背景を説明できる(2)ヘルシンキ宣言の要点を説明できる (3)インフォームドコンセントについて説明できる (4)ヒトを対象とした研究の諸問題について議論し、解決法を考察できる	ヘルシンキ宣言と同意の取得について理解する。
	慶応大	医学学士	メディカル・プロフェッショナルリズムⅢ(研究倫理)	第7, 8回 iPS細胞・再生医療に伴う倫理問題	(1)ES細胞を用いた研究の諸問題について説明する。(2)iPS細胞を用いた再生医療の利点と問題点について説明できる。(3)再生医療に関する我が国の法体制を説明できる。	iPS細胞・再生医療に伴う倫理問題について理解する。
	慶応大	医学学士	メディカル・プロフェッショナルリズムⅢ(研究倫理)	第9, 10回 臨床ゲノム情報の利用環境	(1)研究者の視点から見たゲノム情報の利用について分析できる。(2)患者の視点から見たゲノム情報の提供について分析できる。(3)医師・医療の視点から見たゲノム情報の利用について分析できる。(4)以上3つの視点を総合して、ゲノム医療でのゲノム情報の利用について議論できる。	臨床ゲノム情報の利用環境について理解する。
	慶応大	医学学士	メディカル・プロフェッショナルリズムⅢ(研究倫理)	第11, 12回 基礎から臨床への橋渡し研究	(1)TRについて説明できる。(2)臨床試験の種類とその意義について説明できる。(3)知的財産の重要性について説明できる。(4)橋渡し研究に関わるルールを説明できる。	橋渡し研究(translational research,TR)の意義について理解する。
	慶応大	医学学士	メディカル・プロフェッショナルリズムⅣ	第1回 臨床研究倫理	(1)臨床研究倫理の歴史と現状について、説明できる(2)研究と診療の境界について、理解し説明できる(3)医師・患者関係と研究者・被験者関係の違いについて、説明できる(4)インフォームド・コンセントについて、正しく理解し説明できる(5)倫理審査の意義と必要性について、正しく理解できる(6)倫理研究に関する倫理指針について、説明できる	臨床研究倫理(ヒトを対象とする研究の倫理)について理解する
	慶応大	医学学士	メディカル・プロフェッショナルリズムⅣ	第2回 臨床研究倫理(実習)	臨床研究倫理面における問題点について、なぜ問題なのか、なぜそうするに至ったのか、その場合の背景因子や情動変容について、グループで討議し、それらの防止策を考察する。	

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	慶応大	医学学士	メディカル・プロフェッ シヨナリズムⅣ		(1)臨床研究倫理の不正事例の問題点について考察できる(2)事例検討 過程で、研究と診療との違いについて考察できる。(3)インフォームド・コン セントの重要性について考察できる(4)倫理審査の意義と必要性につい て考察できる【5】臨床研究に関する倫理指針を踏まえつつ事例を考察で きる	
	慶応大	医学学士	メディカル・プロフェッ シヨナリズムⅣ	第3回 臨床研究倫理(実習)	臨床研究倫理面での問題事例について、このグループの見解を発表、 全体で討論し、臨床研究に対する倫理の理解を高める。	
	慶応大	医学学士	メディカル・プロフェッ シヨナリズムⅣ	第3回 臨床研究倫理(実習)	(1)臨床研究倫理の不正事例の問題点について考察できる (2)事例検 討過程で、研究と診療との違いについて考察できる。(3)インフォームド・ コンセントの重要性について考察できる (4)倫理審査の意義と必要性に ついて考察できる 【5】臨床研究に関する倫理指針を理解しつつ、事例の 問題点と適切な防止策について討論できる	
	慶応大	医学修士	医療倫理学	医療倫理学とは何か		
	慶応大	医学修士	医療倫理学	倫理学の基礎		
	慶応大	医学修士	医療倫理学	インフォームド・コンセント		
	慶応大	医学修士	医療倫理学	守秘義務と個人情報保護		
	慶応大	医学修士	医療倫理学	医療倫理学における原則アプ ローチ		
	慶応大	医学修士	医療倫理学	医療倫理学における4分割法ア プローチ		
	慶応大	医学修士	医療倫理学	研究校正について		
	慶応大	医学修士	医療倫理学	人を対象とする研究の倫理原則		
	慶応大	医学修士	医療倫理学	研究倫理ガイドラインと倫理委員 会		
	慶応大	医学修士	医療倫理学	利益相反		
	慶応大	医学修士	医療倫理学	生殖医療・遺伝学と倫理		
	慶応大	医学修士	医療倫理学	終末期医療と倫理		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	慶応大	医学修士	医療倫理学	幹細胞研究と倫理		
	慶応大	医学修士	医療倫理学	医療資源の配分と正義		
	慶応大	医学修士	医療倫理学	プロフェッショナリズムについて		
	慶応大	看護学士	生命倫理学		生命倫理に関する基礎的知識を習得するとともに、生命倫理をめぐる諸問題を検討することにより、「いのち」を見つめる。	1)生命倫理のテーマについて、倫理的視点から問題を説明し、事故の考えを述べることができる。2)グループワークにおける他者と意見交換を通して生命倫理に関する考えを深める事が出来る。
	慶応大	薬学学士	生命倫理		生命倫理について学ぶ意義やその背景、考えるべき問題、また科学技術や医療の進歩、社会情勢の変化に伴う生命観の変遷について概説できる。	薬学性のための医療倫理/松島哲久、盛永審一郎編集・丸善、初めて出会う生命倫理/玉井真理子、大谷いづみ編集・有斐閣
	慶応大	薬学学士	生命倫理	生と死に関わる倫理的問題		
	慶応大	薬学学士	生命倫理	特別講義:人の死をめぐる問題-緩和ケア		
	慶応大	薬学学士	生命倫理	特別講義:人の誕生をめぐる問題		
	慶応大	薬学学士	生命倫理	特別講義:移植医療について		
	慶応大	薬学学士	生命倫理	患者の語りを聴く		
	慶応大	薬学学士	生命倫理	生と死について:グループワーク2		
	慶応大	薬学学士	生命倫理	生と死について:グループワーク3		
	慶応大	薬学学士	生命倫理	生と死について:発表 フィードバック		
	千葉大	医学学士	生命倫理ユニット	生命倫理概論		
	千葉大	医学学士	生命倫理ユニット	生命倫理学と法学		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	千葉大	医学学士	生命倫理ユニット	生命倫理学と社会学		
	千葉大	医学・薬学 修士・博士	医学薬学研究序説	生命倫理学特論	薬剤の臨床試験	
	千葉大	医学・薬学 修士・博士	医学薬学研究序説	生命倫理学特論	医薬バイオ分野の知財について	
	千葉大	医学・薬学 修士・博士	医学薬学研究序説	生命倫理学特論	研究倫理について	
	千葉大	医学・薬学 修士・博士	医学薬学研究序説	生命倫理学特論	医学生命倫理について	
	千葉大	医学・薬学 修士・博士	医学薬学研究序説	生命倫理学特論	生命倫理について①	
	千葉大	医学・薬学 修士・博士	医学薬学研究序説	生命倫理学特論	生命倫理について②	
	千葉大	医学博士	医学薬学府	生命倫理と法的規則		
	千葉大	医工学学士	生体生理工学 I		生命倫理、医用機器および治療法の進化	
	千葉大	工学学士	工学倫理	1.ガイダンス倫理とは		
	千葉大	工学学士	工学倫理	2.工学倫理の特徴		
	千葉大	工学学士	工学倫理	3.コンプライアンスと倫理綱領		
	千葉大	工学学士	工学倫理	4.製造物責任		
	千葉大	工学学士	工学倫理	5.公益通報		
	千葉大	工学学士	工学倫理	6.倫理的問題の解決		
	千葉大	工学学士	工学倫理	7.技術者・職業人としての心構え		
	千葉大	工学学士	工学倫理	8.デジタル音楽と著作権 ～私的 録音録画補償金制度～		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	千葉大	工学学士	工学倫理	9.技術者の知的所有権等財産的権利(1)		
	千葉大	工学学士	工学倫理	10.技術者の知的所有権等財産的権利(2)		
	千葉大	工学学士	工学倫理	11.技術者の知的所有権等財産的権利(3)		
	千葉大	工学学士	工学倫理	12.資源エネルギー消費と環境倫理		
	千葉大	工学学士	工学倫理	13.安全とリスク(1)		
	千葉大	工学学士	工学倫理	14.安全とリスク(2)まとめ		
	千葉大	工学学士	工学倫理	15.各学科においてグループ討議		
	名大	医学学士	医学入門		<p>1)ヒトの体の医学生物学の基礎を、英語で書かれ“Human Biology”を参考書として用いて学びます。なお、英語による講義が含まれるとともに、医学英語のリスニングを含む中間及び期末試験を行います。最初はきっと大変だと思いますが、参考書を活用するとともに、自ら進んで医学・生物学関連のwebcast やpodcast 等を聞いたりして、私たちの分野の世界共通語である医学英語に慣れてください。</p> <p>2)医学を学ぶものとしての心構えなどに関する講義とともに、医の倫理や難治疾患・終末期医療の専門の諸先生方、患者組織代表の方、宗教家の先生方による講義などがあります。また、模擬患者の方を相手にインフォームド Consent の実際的な問題点を学ぶ機会や、最近話題の先端医療の現状と将来についての講義も用意しました。</p> <p>3)多面的に医療の実際を早い段階で経験するために、医学部附属病院での臨床医の一日を経験するシャドウイング実習に加え、看護実習及び障害者施設或いは老人介護施設での介護実習を通じ、多角的に現場を体験する貴重な機会を設けてあります。基礎医学或いは臨床医学の研究者として医学の進歩に貢献し、多くの病に苦しむ人たちに役立ちたいあなたも、そして高度な先端医療の実践者として地域医療に貢献することを目指しているあなたも、さあ第一歩を踏み出しましょう。</p>	
	名大	医学学士	医学入門	特別講義2 医の倫理		
	名大	医学学士	「遺伝と遺伝子」および「腫瘍医学」		この数年のうちに個人の全長ゲノム決定が安価にできる時代が到来しました。近い将来、臨床の現場でも個々の患者のゲノム情報に基づいた診断・治療が行われることになることが予想されます。各患者の腫瘍の変異遺伝子の情報も今後ますます日常臨床に応用が行われていくと予想されます。本講義の目標は、そのような時代に対応をできる遺伝学・腫瘍医学の知識を学ぶことです。また、世界の遺伝学・腫瘍学の研究をリードし、臨床の現場へ知識を供給する研究者にとって必要な基本的な知識を学ぶことです。	Bruce Alberts. Molecular Biology of the Cell, 5th Ed. Garland Publishing Inc. Harvey Lodish et al Molecular Cell Biology, 6th Ed. W H Freeman & Co 遺伝医学やさしい系統講義、福島義光(監修)、メディカルサイエンスインターナショナル

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	名大	医学学士	「遺伝と遺伝子」および「腫瘍医学」	ゲノム研究の倫理	ゲノム研究の倫理審査、データ共有、ゲノム解析技術の急速な進歩に伴い発生している新たな問題	
	名大	医学学士	臨床薬理学講義	ゲノム研究の倫理	薬物動態学では薬物の生体内での運命を理解する。医薬品の開発については、臨床医として倫理的および科学的にどのように臨床試験・治験に係わるべきか理解する。医薬品の適正使用については、関連する法律を理解するとともに、薬害防止と後発医薬品について考える。	日本臨床薬理学会編「臨床薬理学」第4版 医学書院
	名大	医学学士	臨床薬理学講義	臨床試験・治験	・ヒトにおける薬の有効性と安全性を調べる方法について理解する。 キーワード：ヘルシンキ宣言、GCP、IRB、インフォームドコンセント、治験、EBM	
	名大	医学学士	人の死と生命倫理・法	10 医の倫理	倫理委員会が生まれた経緯を学ぶ。また、研究と医療の倫理のかかわりを学ぶ。[ニュルンベルグ綱領、ヘルシンキ宣言、タスキギー事件、倫理委員会、IRB]	
	名大	医学博士	基礎医学領域	生命倫理学セミナー	生命倫理学のテーマとしては、人体実験に関する倫理、尊厳死・安楽死、脳死問題、生殖医療、研究倫理など、幅広い問題が含まれており、多面的な理解が求められる。本セミナーでは、まず包括的な教科書を用いて、生命倫理学の主要な問題のアウトラインを把握し、議論を行う。	生命倫理学は、現在の医学研究においては重要な分野である。人権に配慮した医学研究を行い、医療における医師-患者関係を理解するために、生命倫理の歴史を学び、基本的概念を理解する。
	名大	医学博士	基礎医学領域	生命倫理学実験研究	生命倫理学のいくつかの問題、例えば終末期における治療の差し止め等は、日本においては必ずしも十分な社会的コンセンサスが得られていない。現在でも議論が続いている生命倫理的問題、特に臨床倫理的問題について、諸外国の状況との比較や、アンケート等の方法を用い、問題点の深化や可能な解決策の提案を試みる。	
	京大	医学学士	医の倫理		医療と医学研究における倫理の重要性を理解し、具体的問題を認識、分析、解決するために必要な基本的知識、考え方を身につける。	
	京大	医学学士	医の倫理	医療倫理の考え方		
	京大	医学学士	医の倫理	臨床研究の倫理		
	京大	医学学士	医の倫理	生命倫理の歴史		
	京大	医学学士	医の倫理	生命科学と日本の課題		
	京大	医学学士	医の倫理	新生児・小児医療の倫理		
	京大	医学学士	医の倫理	産婦人科医療の倫理		
ARO	京大	医学修士・博士	基礎医療倫理学	第1回「医療倫理学総論・医療倫理における考え方」		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
ARO	京大	医学修士・博士	基礎医療倫理学	第2回「生命倫理学の歴史」		
ARO	京大	医学修士・博士	基礎医療倫理学	第3回「研究倫理・倫理審査委員会」		
	京大	医学修士・博士	遺伝医療と倫理・社会	【第2回】「ヒトゲノム・遺伝子解析研究の倫理指針と他のガイドライン」	研究として行われるヒト遺伝子解析における倫理的問題点、研究と臨床の境界と区別について考える	
	京大	医学修士・博士	遺伝医療と倫理・社会	【第3回】「企業で行われる遺伝子解析について」	遺伝学的検査を臨床検査会社等の外部委託する場合の問題点、非医療機関で行われる遺伝子検査の問題点について考える	
	京大	医学修士・博士	遺伝医療と倫理・社会	【第4回】「遺伝学的検査に関するガイドライン・遺伝子検査の意義」	臨床的に行われる遺伝学的検査の実施に際して考慮されなければならない倫理的問題について、遺伝子診断の意味とその問題点について、発端者・血族における違いを明確にしながら考える。	
	京大	医学修士・博士	遺伝医療と倫理・社会	【第5回】「遺伝医療に関するガイドラインについて」	関連する種々のガイドラインに関する復習	
	京大	医学修士・博士	医療倫理学各論	「倫理委員会・移植医療と倫理」	倫理審査委員会の歴史、現状、法的根拠、組織。生体肝移植を中心とする倫理について実例に基づいて考える	
	京大	医学修士・博士	医療倫理学各論	「ヒト由来試料の研究利用と倫理」	バイオバンクやヒトゲノム解析など、人から採取した試料を研究利用する際の倫理的問題について考える	
	京大	医学修士・博士	医療倫理学各論	「法と倫理」	道徳・倫理・法の関係、自然法論と法実証主義などについて総合的に考える	
	京大	医学修士・博士	医療倫理学各論	「医療資源配分の問題」		
	京大	医学(看)学士	看護管理・倫理学	第10回 インフォームドコンセントの歴史		
	京大	医学(看)学士	看護管理・倫理学	第11回 倫理的な問題で困難を感じたこと		
	京大	医学(看)学士	看護管理・倫理学	第12回 看護研究での倫理		
	京大	医学(看)学士	看護管理・倫理学	第13回 倫理的ジレンマ		
	京大	医学(看)学士	看護管理・倫理学	第14回 倫理的ジレンマ		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	京大	薬学学士	医療倫理実習		安全への配慮を身につけた薬剤師や創薬研究者のリーダーとなるために、医療安全や関連法規の意義と概要を理解し、医療安全対策の基本的な考え方を身につけ、医療安全に対する関心を深める。また、医療ボランティアを通じ、患者と接する事で医療人としての自覚を高めると共にコミュニケーションの重要性について理解を深める。	
ARO	京大	院生1	大学院教育コース	「臨床研究倫理指針」	2.25時間	
ARO	京大	院生1	大学院教育コース	「倫理」	0.75時間	
ARO	京大	院生1	大学院教育コース	“Research Ethics & Integrity”	0.75時間	
	阪大	医学学士	医学概論	第2回臨床倫理の基本的な考え方		倫理への問いと大学の使命 位田隆一・片井修・水谷雅彦・矢野智司編/京都大学学術出版会、ゲノム科学の展開 現代生物科学入門第2巻 浅島誠・黒岩常祥・小原雄治編/岩波書店 国民衛生の動向/厚生労働統計協会
	阪大	医学学士	医学概論	第3回遺伝子医療の倫理的・社会的課題		
	阪大	医学学士	医学概論	第5回幹細胞研究の倫理的・社会的課題		
	阪大	医学学士	医学概論	第7回疫学・臨床研究を進めるための指針について		
	阪大	医学学士	医学概論	第9回臨床と行政の交差点		
	阪大	医学学士	医学概論	第10回医学研究倫理の政策的対応について		
	阪大	医学学士	医学概論	第11回医学研究への患者・市民の参加を考える		
	阪大	医学学士	医学概論	第12回まとめ－社会における医学と医療		
	阪大	医学修士	臨床試験の研究倫理		ニュルンベルク綱領、ヘルシンキ宣言、ベルモントレポート、ICH-GCP、CIOMSガイドラインなど、人を対象とする研究、臨床試験の実施、支援に欠かすことのできない国際的な倫理原則の内容、倫理的ディレンマの解決のための分析方法・実践の道筋を習得する。さらに、国内外で臨床研究・臨床試験を実施する際の法令、法的に欠かすことのできない事項を習得する。一般的な医薬品臨床試験だけではなく、iPS細胞、先端的な医療機器の開発に伴う研究倫理上の重要な論点を理解するとともに、科学的不正の発生予防と事態への対処についても方法論を習得することを目的とする。	

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	阪大	医学修士	臨床試験の研究倫理	研究倫理の基本原則とヘルシンキ宣言等国際倫理規範	「臨床試験の研究倫理」のモジュールでは、上記のような目的意識のもと、研究倫理上最重要とされる規範の根本原則の理解とその応用、これに基づく研究管理体制の合理的枠組みの運用に向けた展望について検討する。 さらに、本モジュールでは全般的に質疑応答、意見発表、ワークショップ形式による議論と成果発表など、参加型学習を多く取り入れ、受講者が講義を聴くことにより知識を習得するという目的意識のみならず、自ら議論に参加し、問題解決するスキルを身に付けようとする目的意識を育成する。 シリーズ初日冒頭では、「ヘルシンキ宣言」「CIOMS指針」「ベルモントレポート」など国際的に広く知られ活用される倫理規範について解説した上、研究倫理の基本原則を用いて実際の問題を解釈・解決する方法について学習する。	
	阪大	医学修士	臨床試験の研究倫理	精神科/小児領域/女性対象研究・ファーマコゲノミクスに関わる倫理的課題	ファーマコゲノミクス臨床開発については、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」の内容も踏まえ、判断分析や倫理的問題の予測と対応について、議論を深める。	
	阪大	医学修士	臨床試験の研究倫理	臨床研究を取り巻く環境～指針制定と法制度の検討～	これまでは、企業主導・医師主導の治験により医薬品・医療機器の開発が進められてきたが、さらに、先進医療や臨床研究の枠組みも活用した開発戦略により、アカデミア発のシーズ開発や、医療ニーズが高く企業が開発インセンティブを持ちにくい製品の承認取得、保険診療化も進められてきており、企業とアカデミアの協働による研究開発の推進はますます期待されている。 その一方で、臨床研究における企業とアカデミアの利益相反や科学的不正に関する問題が様々な形で社会問題化している実情もある。行政としては、疫学研究倫理指針及び臨床研究倫理指針の運用状況、疫学研究及び臨床研究の在り方に係る検討等を踏まえ、両指針の統合を含めた必要な見直しを行うとともに、ディオハンの臨床研究事案を踏まえ、「高血圧症治療薬の臨床研究事案に関する検討委員会」において必要な対応と再発防止策をまとめたところであり、法制度に係る検討について平成26年秋までを目途に進めることとしている。このような中、本講義では、具体的な事例に対する取り組みと、今後の展望について検討し、企業とアカデミアの協力関係により進められる医薬品開発に伴う倫理、不正防止対策についての考え方を共有する。	
	阪大	医学修士	臨床試験の研究倫理	新たな法規制の枠組み～医薬品医療機器等法・再生医療等安全性確保法・臨床研究中核病院～	2013年11月に成立した薬事法等の一部を改正する法律により、名称を「医薬品医療機器等法」と改めた上で、品質、有効性、安全性の確保といった理念を明確化した上で、医療機器の民間の第三者機関による認証制度を高度管理医療機器に拡大すること、再生医療の特性を踏まえた期限付き・条件付き承認制度の導入など、新たな医薬品・医療機器・再生医療等製品の創出を推進する枠組みとして刷新されたところである。再生医療については、薬事法の改正に加えて、「再生医療等安全性確保法」が成立したことにより、安全なルールの下で、再生医療を実施する環境を整備するとともに、再生医療技術を活用した製品の審査期間を短縮するための規制の見直しや、特定細胞加工物の製造の許可等の制度を定めるなど、再生医療の実用化を安全かつ迅速に進めるための新たな枠組みを整備したところである。また、医療法の改正に伴い、「臨床研究中核病院」の名称独占権が法制化されるなど、革新的医薬品・医療機器の研究開発・実用化に向けた環境整備が急速に進んでいる。医療関連産業を取り巻く現況と今後の展望について概説する。	

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	阪大	医学修士	臨床試験の研究倫理	治験・臨床研究における被験者保護と希少疾患の治療法開発(前半)・(後半)	日本の企業治験は「オーバークオリティ」とも言われ、医師が臨床的に必要とする適応の拡大や新規治療法の開発が進まなかったことから「医師主導治験」の制度が設けられ、さらに「臨床研究に関する倫理指針」「先進医療」などの枠組みで、他の国では標準治療とされる方法の国内導入や希少疾患の治療法の承認取得、保険医療化なども進められてきた。こうした様々な枠組みがある中で、医師自らが企画し、場合によっては企業の支援も得ながら、被験者を保護し信頼性を確保しうる試験の実施、その結果として製品についての承認取得や保険適応を目指す枠組みを、規制と倫理の考え方・実際を軸に講義する。さらに、既存治療で奏功しない患者、末期患者、妊婦や授乳婦、無意識下にある患者など、弱者である患者を対象とする治験・臨床研究に関する倫理的問題、GCP上の規定や実務経験からの問題についても検討する。	
	阪大	医学修士	臨床試験の研究倫理	【前半】自らの研究が倫理的かどうか判断するには 【後半】がん研究を実施する際に生じる倫理的トピック	本講義では、がんの克服を目指す医学研究の様々な側面に焦点をあて、研究のインテグリティや研究倫理について実際に生じた問題事例を紹介しながら、研究実施上の具体的な課題として研究倫理をどのようにとらえればよいかについて議論する。また、現在、わが国で疫学研究や臨床研究を実施する上で問題となるようなトピックについても議論する。これらを通して、今後の国際共同研究やグローバル研究開発を進める上で必要と思われる、研究倫理の基本的な考え方、原理・原則についても考察を深め、詳細な規制や手順的側面だけでなく、自らの研究が倫理的かどうかを測る尺度を持てるようになることを目的とする。	
	阪大	医学修士	臨床試験の研究倫理	臨床研究におけるインフォームド コンセント―被験者にとってわかりやすい説明について考える―	臨床研究における規制要件や研究倫理に関する知識を理解した上で、模擬説明文書を用いて説明文書の内容や表現について検討する。また、被験者へのわかりやすい説明が出来るような医療コミュニケーション技術を習得する。	
	阪大	医学修士	臨床試験の研究倫理	健康被害補償(医法研ガイドライン)	医法研では、製薬企業各社間で補償ガイドラインの運用にバラつきや解釈の違いが生じないよう見直しを現在検討中であり、本日は補償ガイドラインの見直しのポイント及び理由について説明するが、アカデミア臨床研究で参考にできる点、又はできない点等の議論の一助となれば幸いである。	
	阪大	医学修士	臨床試験の研究倫理	アカデミア補償	臨床研究に参加した対象者に、試験に起因する健康被害が発生した場合には、適切な医療を提供するとともに、重篤な健康被害に対する補償金の支払いが求められる場合がある。企業主導の治験においては、省令GCPとそのガイダンスに考え方が示されるとともに、医薬品企業法務研究会(医法研)のガイドラインが、詳細な対応について明確化してきた。アカデミアにおける医師主導治験・臨床研究においては、倫理指針のQ&Aやガイダンスに考え方が一定程度示され、医法研ガイドラインが参照されるべきとされてきた。そもそも補償が必要であるという認識がアカデミアには欠けていたが、最近では、補償のための保険契約をすることについては慣れてきた研究者・研究機関も増えている。しかしながら、アカデミアにおいては実際の補償対応やそれに備えた保険契約以外の面の整備は十分ではなく、医法研ガイドラインの示す内容で実際に対応できるのかどうかの検討も十分になされてはいない。そこで本講義では、ワークショップ形式により、3限目の講義内容も踏まえて、アカデミアにおける健康被害補償のあり方について議論し、受講者に発表してもらうこととする。	

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	阪大	医学修士	臨床試験の研究倫理	IRBワークショップ	ディオバン事件では、利益相反や企業のガバナンスに焦点があてられ社会問題化した。IRB(加えて言うと掲載誌の査読)がそのプロトコル(又は論文)を承認し、研究が実施(論文が掲載)されたという問題もある。米国では、2009年に『おとりプロトコル』を承認したIRBに対してFDAがWarning Letterを発した。同様のことを日本のIRBに対して行ったらどうなるであろうか？ 今回のIRBワークショップでは、米国のように問題を埋め込んだIRB申請資料についてグループワークを行う。各受講生がIRBメンバーとしてプロトコル等を審査する立場となって、申請されたプロトコルの問題を討議していただく。	
ARO	阪大	修士・博士の1年次生	研究倫理オリエンテーション	「人を対象とする研究を実施する上でのルール」		1時間/回
ARO	阪大	修士・博士の1年次生	CITI Japan ONスクリーン eラーニング	「人を対象とした研究:基礎編 stage 1」		1時間/回
	阪大	医学修士	ライフサイエンスの倫理と公共政策学		ライフサイエンスの倫理と政策に関する課題と対応の方法について全体像を概説した上で、いくつかの具体例を取り上げながら解説を行う。最新のライフサイエンスに関する倫理的・政策的課題について、多様な分野の視点を取り入れて検討できる。	
	阪大	医学修士	ライフサイエンスの倫理と公共政策学	第1回 イントロダクションーライフサイエンスの倫理的・社会的課題		
	阪大	医学修士	ライフサイエンスの倫理と公共政策学	第2回 事例検討ーヒトiPS細胞研究を例にして		
	阪大	医学修士	ライフサイエンスの倫理と公共政策学	第3回 遺伝子診断をめぐる倫理的・社会的課題(1)		
	阪大	医学修士	ライフサイエンスの倫理と公共政策学	第4回 遺伝子診断をめぐる倫理的・社会的課題(2)		
	阪大	医学修士	ライフサイエンスの倫理と公共政策学	第5回 講義1-4についての総合討論		
	阪大	医学修士	ライフサイエンスの倫理と公共政策学	第6回 公共政策におけるライフサイエンス		
	阪大	医学修士	ライフサイエンスの倫理と公共政策学	第7回 テクノロジーアセスメントの理論と実践		
	阪大	医学修士	ライフサイエンスの倫理と公共政策学	第8回 生命科学・医療に関わるテクノロジーアセスメント		
	阪大	医学修士	ライフサイエンスの倫理と公共政策学	第9回 バイオセキュリティとガバナンス		
	阪大	医学修士	ライフサイエンスの倫理と公共政策学	第10回 アセスメントとコミュニケーション実習		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	阪大	医学修士	ライフサイエンスの倫理 と公共政策学	第11回 倫理的課題への政策的 対応(1) - 倫理審査制度の歴史 と現在		
	阪大	医学修士	ライフサイエンスの倫理 と公共政策学	第12回 倫理的課題への政策的 対応(2) - 日本と世界		
	阪大	医学修士	ライフサイエンスの倫理 と公共政策学	第13回 研究者コミュニティの対 応 - 米国科学アカデミーおよび ヒトゲノム		
	阪大	医学修士	ライフサイエンスの倫理 と公共政策学	第14回 グループディスカッション 実習		
	阪大	医学修士	ライフサイエンスの倫理 と公共政策学	第15回 総合討論		
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論A		医学研究において倫理の概念が進展してきた歴史を知り、確立されたこと というよりは、国や各自のレベルで工夫すべき事柄が、現在でも多く残って いること、あるいは生じていることを認識する。また、様々な医学研究にど のような倫理的視点・法的規制を適用すべきかが理解できる。研究現場に いる研究者や研究参加者、支援者などの立場や関わりに配慮し、それぞ れがどのような役割や倫理的・法的義務を負うか推測することができる。 (実際の課題解決の例や各論については、特論Bで学ぶ。)	
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論A	第1回 医学研究倫理の概念1 (歴史)		
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論A	第2回 医学研究倫理の概念2 (現代の論点)		
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論A	第3回 研究における不正行為と 規制		
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論A	第4回 公正な研究を推進するガ バナンス		
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論A	第5回 臨床研究と治験1(倫理・ 法的規制の枠組み)		
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論A	第6回 臨床研究と治験2(倫理審 査と倫理支援)		
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論A	第7回 疫学研究、バイオバンク の倫理		
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論A	第8回 さまざまな研究参加者(イ ンフォームド・アセントと代諾)		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論B	第1回 希少疾患・難病研究1(英 国における歴史と政策)	医学研究への患者・市民参画によって社会が得られる医療や公衆衛生上の利益と、参画した患者・市民への直接的な利益との関係など、倫理的課題の解決に向け試行する具体的なケースを知ることができる。 近年の遺伝子・ゲノム解析研究の進展により、研究が医学医療分野から健康産業分野などの広い範囲に及んでいることや、そのために一般市民が患者や消費者といった時に弱者となる立場に置かれることを認識し、国内外の遺伝情報保護やプライバシー保護の法規制や政策の最新の動きをもとに、自分の考えを論じることができる。	
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論B	第2回 希少疾患・難病研究2(英 国の患者・市民参画型研究の具 体例)		
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論B	第3回 希少疾患・難病研究3(日 本における希少疾患・難病の社 会的位置付け)		
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論B	第4回 希少疾患・難病研究4(当 事者の立場で患者参加型研究 について考える)		
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論B	第5回 患者・市民団体と研究の 関わり1(歴史と概念)		
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論B	第6回 患者・市民団体と研究の 関わり2(政策と具体例)		
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論B	第7回 遺伝情報とプライバシー1 (遺伝子・ゲノム解析研究とは)		
	阪大	医学修士	医学研究倫理・ガバナ ンス特論B	第8回 遺伝情報とプライバシー2 (倫理的視点、法的規制)		
	阪大	医学修士	医療倫理概論	第1回 医療倫理とは(1)		
	阪大	医学修士	医療倫理概論	第2回 医療倫理とは(2)		
	阪大	医学修士	医療倫理概論	第3回 出生前診断の考え方・発 症前診断の考え方		
	阪大	医学修士	医療倫理概論	第4回 ゲノム時代の遺伝診療		
	阪大	医学修士	概論4集団社会医学概 論	ヒトゲノム解析研究と遺伝子診断 の倫理的課題	ヒトゲノムの研究を行う際には、試料提供者に対する十分な説明や同意の取得、遺伝情報や細胞の取り扱いに関する配慮が欠かせない。また、応用技術としての遺伝子検査にもいくつもの倫理的課題がある。ヒトゲノム研究と遺伝子診断を進める際の倫理的配慮と対応の在り方について概説する。	
	阪大	医学(看)学 士	ライフサイエンス・医療 の倫理	3 幹細胞研究の倫理的・社会的 課題(1) GW_1発表 & 講義		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	阪大	医学(看)学 士	ライフサイエンス・医療 の倫理	4 幹細胞研究の倫理的・社会的 課題(2) GW_2		
	阪大	医学(看)学 士	ライフサイエンス・医療 の倫理	5 幹細胞研究の倫理的・社会的 課題(3) GW_2発表		
	阪大	医学(看)学 士	ライフサイエンス・医療 の倫理	10 臨床倫理入門(1) 講義		
	阪大	医学(看)学 士	ライフサイエンス・医療 の倫理	11 臨床倫理入門(2) GW_4		
	阪大	医学(看)学 士	ライフサイエンス・医療 の倫理	12 臨床倫理入門(3) GW_4発表 &講義		
	阪大	医学(看)学 士	関係法規	第11回 患者の権利とは		
	阪大	医学(看)学 士	関係法規	第12回 患者の権利・インフォー ムドコンセント		
	阪大	医学(看)学 士	関係法規	第13回 患者の権利・個人情報 の保護		
	阪大	医学(看)学 士	関係法規	第14回 医療における倫理感と法 律		
	阪大	保健学修士 (博士前期)	生命倫理・医療文化論		医療専門職者が熟知すべき姓名倫理問題と人権擁護について理解を深 めると共に、医療全体を広く医療人類学的に論議し、医療の原点を探求す る。	
	阪大	薬学学士	未来医療開発特論		8)※ 再生医療の現状や法規制、倫理的問題点を説明できる	解説・キーワード: 再生医療、倫理
	阪大	歯学学士	口腔総合医療学		口腔総合医療学では、将来歯科医師として歯科保健医療に従事する際に 必要不可欠である人文科学的あるいは社会科学的分野を扱う。すなわ ち、鹿医学教育モデルコアカリキュラムのうち、「A. 医の原則」「B. 歯科医 師としての基本的態度」、「C社会と歯学」の分野を中心とした講義及び実 習を行なう	
	阪大	歯学学士	口腔総合医療学	2	医療倫理に関する法規・法律等を説明する	
	阪大	歯学学士	口腔総合医療学	3	医療倫理上、問題のない歯科医療を選択する	
	阪大	歯学学士	口腔総合医療学	4	歯科医師の法的義務を列挙する	
	阪大	歯学学士	口腔総合医療学	5	患者の自己決定権を尊重し、インフォームドコンセントを得る	

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	阪大	歯学学士	口腔総合医療学	6	歯科医療における事故の特性を説明する	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 演習	第1回 ガイダンス		
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 演習	第2回 再生医学に関わる細胞 生物学演習1	再生医学の理解を深めるために必要な細胞生物学について、基本的事項 を演習する。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 演習	第3回 再生医学に関わる細胞 生物学演習2	再生医学の理解を深めるために必要な細胞生物学について、一般的事項 を演習する。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 演習	第4回 再生医学に関わる細胞 生物学演習3	再生医学の理解を深めるために必要な細胞生物学について、応用的事項 を演習する。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 演習	第5回 再生医学に関わる分子 生物学演習1	再生医学の理解を深めるために必要な分子生物学について、基本的事項 を演習する。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 演習	第6回 再生医学に関わる分子 生物学演習2	再生医学の理解を深めるために必要な分子生物学について、応用的事項 を演習する。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 演習	第7回 創薬開発の基本演習1	創薬開発に必要な知識を演習する(1回目)。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 演習	第8回 創薬開発の基本演習2	創薬開発に必要な知識を演習する(2回目)。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 演習	第9回 遺伝子導入法に関する 演習	遺伝子導入方法について演習する。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 演習	第10回 遺伝子治療法に関する 演習1	遺伝子治療法の目的、原理、応用性について演習する(1回目)。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 演習	第11回 遺伝子治療法に関する 演習2	遺伝子治療法の目的、原理、応用性について演習する(2回目)。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 演習	第12回 顎口腔組織の再生に 関する総合的演習1	顎口腔の組織ならびに器官の再生アプローチについて演習する(1回 目)。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 演習	第13回 顎口腔組織の形成に 関する総合的演習2	顎口腔の組織ならびに器官の再生アプローチについて演習する(2回 目)。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 演習	第14回 顎口腔組織の形成に 関する総合的演習3	顎口腔の組織ならびに器官の再生アプローチについて演習する(3回 目)。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 演習	第15回 総合討論と考察	学習した演習内容を総合的に理解するために、討論ならびに考察を行う。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 講義	第1回 ガイダンス		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 講義	第2回 再生医学に関わる細胞 生物学の講義1	再生医学の理解を深めるために必要な細胞生物学について、基本的事 項を学習する。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 講義	第3回 再生医学に関わる細胞 生物学の講義2	再生医学の理解を深めるために必要な細胞生物学について、一般的事 項を学習する。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 講義	第4回 再生医学に関わる細胞 生物学の講義3	再生医学の理解を深めるために必要な細胞生物学について、応用的事 項を学習する。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 講義	第5回 再生医学に関わる分子 生物学の講義1	再生医学の理解を深めるために必要な分子生物学について、基本的事 項を学習する。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 講義	第6回 再生医学に関わる分子 生物学の講義2	再生医学の理解を深めるために必要な分子生物学について、応用的事 項を学習する。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 講義	第7回 創薬開発の基本講義1	創薬開発に必要な知識を学習する(1回目)。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 講義	第8回 創薬開発の基本講義2	創薬開発に必要な知識を学習する(2回目)。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 講義	第9回 遺伝子導入法に関する 講義	遺伝子導入方法について学習する。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 講義	第10回 遺伝子治療法に関する 講義1	遺伝子治療法の目的、原理、応用性について学習する(1回目)。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 講義	第11回 遺伝子治療法に関する 講義2	遺伝子治療法の目的、原理、応用性について学習する(2回目)。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 講義	第12回 顎口腔組織の再生に 関する総合的講義1	顎口腔の組織ならびに器官の再生アプローチについて学習する(1回 目)。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 講義	第13回 顎口腔組織の形成に 関する総合的講義2	顎口腔の組織ならびに器官の再生アプローチについて学習する(2回 目)。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 講義	第14回 顎口腔組織の形成に 関する総合的講義3	顎口腔の組織ならびに器官の再生アプローチについて学習する(3回 目)。	
	阪大	歯学博士	顎口腔再生分子生物学 講義	第15回 総合討論と考察	学習した講義内容を総合的に理解するために、討論ならびに考察を行 う。	
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学演 習	第1回 生命科学研究の進展1		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学演 習	第2回 生命科学研究の進展2		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学演 習	第3回 生命科学研究の進展3		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学演習	第4回 ゲノム生物学の可能性1		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学演習	第5回 ゲノム生物学の可能性2		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学演習	第6回 ゲノム生物学の可能性3		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学演習	第7回 遺伝子治療技術の可能性1		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学演習	第8回 遺伝子治療技術の可能性2		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学演習	第9回 遺伝子治療技術の可能性3		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学演習	第10回 再生医学概論1		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学演習	第11回 再生医学概論2		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学演習	第12回 再生医学概論3		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学講義	第1回 生命科学研究の進展1		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学講義	第2回 生命科学研究の進展2		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学講義	第3回 生命科学研究の進展3		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学講義	第4回 ゲノム生物学の可能性1		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学講義	第5回 ゲノム生物学の可能性2		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学講義	第6回 ゲノム生物学の可能性3		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学講義	第7回 遺伝子治療技術の可能性1		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学講義	第8回 遺伝子治療技術の可能性2		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学講義	第9回 遺伝子治療技術の可能性3		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学講義	第10回 再生医学概論1		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学講義	第11回 再生医学概論2		
	阪大	歯学博士	先端分子細胞病態学講義	第12回 再生医学概論3		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学演習	1. ガイダンス(演習の概要説明)		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学演習	2. 文献の探索・収集の方法		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学演習	3. 文献(薬理学を含む臨床医学研究論文)の読み方		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学演習	4. プレゼンテーション資料(スライド)作成の方法		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学演習	5. テーマIの決定(文献Iの探索・収集と選定)		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学演習	6. 文献Iの講読と討議(1)		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学演習	7. 文献Iの講読と討議(2)		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学演習	8. テーマIのプレゼンテーション準備と指導(1)		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学演習	9. テーマIのプレゼンテーション準備と指導(2)		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学演習	10. 文献Iのプレゼンテーション		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学演習	11. テーマIIの決定(文献IIの探索・収集と選定)		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学演習	12. 文献IIの講読と討議		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学演習	13. 文献IIの講読と討議およびプレゼンテーション準備		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	阪大	歯学博士	臨床薬理学演習	14. テーマⅡのプレゼンテーション準備と指導		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学演習	15. テーマⅡのプレゼンテーション		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学講義	2. 医薬品の開発		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学講義	11. 薬理ゲノミクスの臨床応用		
	阪大	歯学博士	臨床薬理学講義	12. エビデンスに基づく薬物治療I	:臨床薬理学とEBM	
	阪大	歯学博士	臨床薬理学講義	12. エビデンスに基づく薬物治療II	:降圧薬, 抗不整脈薬, 虚血性心疾患治療薬, 脂質異常症治療薬, 糖尿病治療薬	
	阪大	歯学博士	臨床薬理学講義	13. エビデンスに基づく薬物治療III	:消化管治療薬, 呼吸器疾患治療薬, 中枢神経作用薬, 抗炎症薬・抗リウマチ薬, 骨粗鬆症薬	
	阪大	歯学博士	臨床薬理学講義	14. エビデンスに基づく薬物治療IV	:抗菌薬, 抗悪性腫瘍薬, 免疫抑制薬, 認知症, Parkinson病, 脳血管障害, その他の中枢神経作用薬	
	阪大	歯学博士	臨床薬理学講義	15. 医薬品開発の法的側面		
ARO	岡大	医学院1-2	臨床研究・疫学実践論 H27年度	その他（生命倫理）		48時間
	岡大	医学学士	生命倫理学	誕生をめぐる問題	生殖技術に関する倫理的課題を理解し、問題を考える。	
	岡大	医学学士	生命倫理学	治療選択とQOL	生命倫理学の原則を理解し、患者の意思決定とQOLを考える。	
	岡大	医学学士	生命倫理学	インフォームド・コンセント	インフォームド・コンセント概念を理解し、患者-専門職関係を考える。	
	岡大	医学学士	生命倫理学	安楽死をめぐる問題	安楽死の概念を理解し、倫理的課題を考える。	
	岡大	医学学士	生命倫理学	脳死と臓器移植	脳死と「人の死」との関係を含む、移植医療に関する倫理的課題を考える。	

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	岡大	医学学士	生命倫理学	エンド・オブ・ライフケアと事前指示	意思決定能力を欠く患者の治療選択問題を考える。	
	岡大	医学学士	生命倫理学	現代日本の死と看取りをめぐる問題	死と看取りをめぐる現代的な課題について考える。	
	岡大	医学学士	生命倫理学	死生観の歴史	日本を中心とした死生観の歴史について学び、現代日本の課題を明らかにする。	
	岡大	医学学士	生命倫理学	介護者への眼差し	介護する人の抱える問題を明らかにし、これからの医療者のあり方について考える。	
	岡大	医学・歯学 学士	レギュラトリーサイエンス入門	レギュラトリーサイエンス総論	生命倫理医療倫理及び臨床研究における倫理	
	岡大	医学・歯学 学士	レギュラトリーサイエンス入門	臨床研究	倫理指針に則った研究デザイン(介入)	
	岡大	医学・歯学 学士	レギュラトリーサイエンス入門	臨床研究	倫理指針に則った研究デザイン(観察)	
	岡大	医歯科学修 士	生命倫理学	安楽死・尊厳死をめぐる法と倫理		
	岡大	医歯科学修 士	生命倫理学	死生論		
	岡大	医歯科学修 士	生命倫理学	医学研究をめぐる法と倫理	近時の医学研究不正問題を紹介しつつ、人体実験や臨床試験も含めて、医学研究一般に関する法的、倫理的問題を概説する。	
	岡大	医歯科学修 士	生命倫理学	人間論		
	岡大	医歯科学修 士	生命倫理学	脳死・臓器移植をめぐる法と倫理		
	岡大	医歯科学修 士	生命倫理学	患者の自己決定権とインフォームド・コンセント		
	岡大	医歯科学修 士	生命倫理学	生殖医療をめぐる法と倫理		
	岡大	医歯科学修 士	生命倫理学	生命倫理とは何か		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	岡大	歯学学士	疫学理論	研究倫理	インフォームドコンセント。パターナリズム・自己決定権・医の倫理、個人情報	
	九大	医学修士	生命倫理学		医療・生命倫理(Bioethics & Medical Ethics)の基本概念を正しく理解すると共に、研究者としての医療専門家の行動規範について学ぶ。	【生命医学倫理：(Principle of Biomedical Ethics, 2009)】麗澤大学出版会】 【BIOMEDICAL ETHICS SEVEN EDITION, 2012 (Oxford University Press)】 Encyclopedia of Bioethics(4th ed,2014),Bruce Jennings, editor in chief, USA.
	九大	医学修士	生命倫理学	1)オリエンテーション 総論	史料にみる医療専門職家の行動規範	
	九大	医学修士	生命倫理学	2)生命倫理学	倫理原則・倫理原理の理解	
	九大	医学修士	生命倫理学	3)生命の始期における法的小および倫理的問題について	生殖補助医療の進歩と生まれて来る子の福祉	
	九大	医学修士	生命倫理学	4) 生命の終期における法的小および倫理的問題	終末期医療における患者・患者家族のケア	
	九大	医学修士	生命倫理学	5) 人間の価値概念と道徳的規範	インフォームド・コンセントの前提条件と臨床現場の課題	
	九大	医学修士	生命倫理学	6) 総括 ー医療専門家の倫理的感受性教育ー		
	九大	医学博士	医学研究の倫理		臨床研究に倫理性が必要なことは言うまでもないが、最近ではむしろ基礎研究者の不正行為が大きな社会問題となっている。また、研究結果の発表に関するバイアスや、利益相反という問題も重視されつつあり、さらに研究室でのハラスメントがしばしば問題となっている。社会から信頼される医学研究者を育成するため、研究者の「責任ある行動」とは何かということを考えさせる。	『背信の科学者たちー論文捏造、データ改ざんはなぜ繰り返されるのか』(講談社) 『ORI研究倫理入門ー責任ある研究者になるために』(丸善)など
	九大	医学博士	医学研究の倫理	1.「研究倫理はなぜ必要か」		
	九大	医学博士	医学研究の倫理	2.「研究者の不正行為」		
	九大	医学博士	医学研究の倫理	3.「研究発表の倫理」		
	九大	医学博士	医学研究の倫理	4.「研究室の人間関係と倫理問題」		
	九大	医学博士	医学研究の倫理	5. 質疑応答、総合討論		

ARO	大学	対象	研究倫理・医療倫理 講義名	研究倫理・医療倫理 履修主題	履修内容	参考書その他
	九大	医学博士	臨床研究の倫理と規制		臨床研究倫理の歴史と現状を学び、人を対象とする研究の遂行に必須の倫理観を身につける。特に、被験者の安全と人権を守るための二大条件、インフォームドコンセントと倫理審査について、体験学習を含む授業により学ぶ。また、臨床研究の規制法・ガイドラインを知る。	
	九大	医学博士	臨床研究の倫理と規制	臨床研究倫理の歩み		
	九大	医学博士	臨床研究の倫理と規制	インフォームドコンセント		
	九大	医学博士	臨床研究の倫理と規制	法規制とガイドライン		
	九大	医学博士	臨床研究の倫理と規制	倫理審査		
	九大	医学博士	臨床研究の倫理と規制	模擬IRB(研究計画書)		
	九大	医学博士	臨床研究の倫理と規制	模擬IRB(被験者説明文書)		
	九大	医学博士	臨床研究の倫理と規制	IRB陪席(一般臨床試験)		
	九大	医学博士	臨床研究の倫理と規制	IRB陪席(一般臨床試験)		
	九大	看護学学士	医療倫理・終末期医療 論	医療倫理、概論、倫理原則、倫理的課題	医療の場の倫理の必要性、医療倫理の歴史、原則、現在の医療の場の倫理的課題等の基礎知識を学び、最近のトピックスについて関心をもつ。	
	九大	看護学学士	医療倫理・終末期医療 論	情報倫理 電子カルテ	IT社会における個人情報保護、守秘義務について法令に基づく基礎知識を学び、実習時の電子カルテ使用時における倫理的態度を理解する	